

—スギ花粉症のマメ知識—

今回は、近年まれに見る大増殖(?)をしているスギ花粉症についてです。

スギ花粉症とは……

花粉を吸うことで、連発するくしゃみ発作、引き続いておこる多量の鼻みず、鼻づまり、目のかゆみ、流涙、頭痛などを伴う眼や鼻におこるアレルギーを花粉症と言っています。人によってはのどのかゆみや異物感や咳、喘息をとまなうこともあり、さらに、胃腸症状や皮膚がかゆいなどの症状を伴うこともあります。また、花粉症に伴う症状は原因花粉によって多少の差があるとする報告もあります。花粉症で生命を脅かされることはまずないでしょうが、日常生活に大いに支障をきたす厄介な病気であることは事実です。

日本では、ブタクサ、カモガヤ、ヨモギなど、約60種の花粉尘が今までに報告されています。その中で2月から4月に大量に飛散するスギ花粉によって引きおこされるのがスギ花粉症であります。大量のスギ花粉の飛散に続き、ヒノキ科花粉が5月中旬頃まで飛散します。このスギとヒノキの花粉のアレルギーを起こしてくる成分には共通したものがあり、スギ花粉で花粉症症状をおこす人の約80%の人はヒノキ科の花粉でも花粉症の症状をおこしてくるようです。したがって、スギ花粉症とは言わずに、スギ・ヒノキ科花粉症という花粉症学者もいます。

スギ花粉症は日本で最も多い花粉症で、国民の約15%が悩んでいると推定されています。有病率は都市部ほど多いとされていて、この有病率の高さから、今や国民病とも文明病ともいわれ、毎年花粉飛散時期の春先にはテレビや新聞などの多くのマスコミで取り上げられ、日本列島がその話題に大騒ぎになっているのが現状です。スギ花粉症の治療などにかかる費用は約3000億円と膨大な額と推定され、花粉症による労働意欲の減退などの間接的なものも含めれば、その経済的損失は計り知れないことになります。ヨーロッパにおけるイネ科の花粉症、アメリカのブタクサ花粉症、および日本のスギ花粉症をあわせて、世界の3大花粉症と呼ぶ人もいます。

どの時期から症状がでますか………？

花粉が飛散する大まかな時期を表にしました。

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
スギ	■	■	■	■	■							
ヒノキ	■	■	■	■	■	■						
イネ		■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
ブタクサ							■	■	■	■	■	■
ヨモギ								■	■	■	■	

この表から推測すると、残念ながら、人によっては、**1年中花粉症**に悩まされることになるかもしれません。